

case no.24

播州皮革工業協同組合

活路開拓調査・実現化事業でもっともっと PR !

company profile

創立：1960年

事業内容：なめし革・同製品・ゼラチン製造

住所：兵庫県たつの市菅田町広山6-4

連絡先：TEL:0791-62-3611・FAX:0791-62-2654

ザクッと言うと **3** ポイント

1. たつの産の皮革は出荷量日本一で高品質
2. ブランド化に向けて一般消費者への直販を開始
3. PR活動に活路開拓調査・実現化事業の補助金を活用

BAN-LC誕生まで

皮革産業は、気候や水利など加工に有利な環境下で継承され、起源は1000年余を遡るといふ。播州皮革工業協同組合は、たつの市菅田町で50のタンナー及び皮革関連業を束ねて地場産業を支えている。副理事長の山本氏、事務局の山本氏に話を伺った。

長い歴史で培われた高い技術で、たつの産の皮革は日本一の出荷量と高品質を誇る。とは言え、外国産の安価な素材を多用し、短いサイクルで入れ替わるファストファッションが主流となった昨今である。工程と時間を費やして産出される高級皮革は、高価である上に手入れにも手間がかかり、お手軽とはほど遠い。このまま時代遅れの素材となってしまうのだろうか…

そんな危機感から、たつの産皮革のブランド化を目指し、知名度アップや直販に挑戦しようと若手や有志が集まった。グループ名『BAN-LC』として活動が開始された。



色とりどりの皮が並ぶ直売所



パンフレットとロゴの皮タグ

素材としての皮革が一枚から手に入ることはたいへん珍しい。産地ならではの価格も魅力的だ。また、メンバーのタンナーそれぞれが得意な加工を施した皮を持ち寄っているため豊富な種類が展示できる。個人で活動するデザイナー、趣味でレザークラフトを楽しんでいる人、素材として皮を利用したい人などに情報が届けば、遠くても不便でも来場が見込める。

若手タンナーの中には自社の皮を使ってオリジナル製品を作り、直販を手掛ける者も現れている。素材の産地としてだけではない動きが始まった。

組合としては、ますますのアピールをどうするかがこれからの課題だ。

(直売所や直売会などのお問い合わせは組合まで tel:0791-62-3611・fax:0791-62-2654)



組合外観 右手が直売所

品質や出荷量は日本一！だが…

出荷量は日本一、品質も世界レベルを自負している。ただ、メーカーや問屋への卸しなど、裏方ばかりを行ってきたため一般消費者にはあまり知られていない。そこで、組合事務所横の倉庫で一般消費者向けに直販即売会をしよう！と2015年から「皮革展示直売会」を開くことになった。

直売会は、商工会議所、たつの市との共催でもあり、PRも行き届いて毎回盛況を博す。ほかにも、商工会議所主催のたつのレザー展示即売会、姫路駅地下通路のにぎわい広場で開かれる連合会のじばさん皮革まつりと、直販は手ごたえ十分だった。

直売の成功を受け、さらなるPRと市場調査も兼ねて、事務所横の倉庫を常設の直売所として運営することになった。便利とはいえない地利もあり、常設していてもまだまだ訪れる人は少ない。まずは知ってもらうことが必要だ。中央会の巽からの提案で、平成29年度の連携組織活路開拓調査・実現化事業にエントリーし見事採択。消費者へのアピールのためのサンプルやパンフレット、ロゴの皮タグなどの宣伝ツールに活用した。

素材の直販を強みに



左から副理事長の山本氏、事務局の山本氏、中央会 巽

担当者からひとこと

皮革製造において日本で生産量が一番多いのが、兵庫県たつの市・姫路市の地区になるのですが、認知度が低いのが大きな課題です。

今回の事業において、まず産地のPRの方法を模索した結果、2次加工品の製作の他に産地PRの革製の統一したタグを製作する事にしました。将来的には、素材にタグをつけることにより産地アピールだけでなく誰もが見てわかるブランド化への浸透を目指していきたいと思っております。



担当者：巽 健吾